

# がんの「集学的治療」紹介

## 徳大でフォーラム 260人学ぶ

最新のがん治療を紹介した徳島大学病院がん診療連携センターフォーラム。徳島市の徳島大蔵本キャンパス



薬物療法で小さくしてから切除する「コンバージョン手術」を紹介し、「効果があれば常に手術ができないかどうか検討している」と語った。

フォーラムの様子は、後日ケーブルテレビ徳島で放送する予定。(若武)

最新のがん治療を紹介するフォーラム(徳島大学病院がん診療連携センター主催、徳島がん対策センター、徳島新聞社共催)が1日、徳島市の徳島大蔵本キャンパス内の長井記念ホールであった。手術や薬物療法、放射線治療などを組み合わせた「集学的治療」をテーマに徳島大学病院の医師ら8人が講演し、約260人が理解を深めた。

野広和講師は、薬物療法を手術や放射線照射と併用する肺がん治療法が多数開発されていると紹介。どの方法が適しているかは患者によって異なり、副作用などデメリットもあるとして「主治医と治療方針をしっかり和相談し、判断するのが大切だ」と訴えた。

消化器・移植外科の森根裕二准教授は胆道がんについて解説。切除できないと判断された症例で、がんを